

ヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria gotoi* (Nomura, 1959), ミゾツヤドロムシ *Zaitzevia revalis* Nomura, 1963 などの、河川上流域に生息する種が多く得られている。

継続した調査にもかかわらず、この産地で得られた個体数が極めて少ないため、個体密度が低いのか、付近にある生息本拠地から流下した個体が採集された可能性も考えられる。

謝辞

報文執筆に際して、原稿をご校閲頂くとともに様々なご助言を賜った吉富博之博士（愛媛大学農学部昆虫学研究室）に深く御礼申し上げる。また、ヒメドロムシの採集方法や埼玉県内の同科に関して貴重なご助言を頂いた新井浩二・志保両氏（埼玉県嵐山町）、本調査に関して多大な理解と支援を頂いているニューロンサニター株式会社の皆様（新潟県長岡市）にも併せて御礼申し上げたい。



引用文献

- 新井浩二, 2007. 埼玉県のヒメドロムシ類. 寄せ蛾記, (125), 1-21.
- 上手雄貴・疋田直之, 2010. 群馬県におけるアカツヤドロムシの記録. 甲虫ニュース, (169), 6.
- 環境省, 2007. 昆虫類のレッドリスト新旧対照表. (2010年11月3日参照) (http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=9956&hou_id=8648).
- 水野信彦・御勢久右衛門, 1993. 河川の生態学. 247 pp. 築地書館, 東京.
- Nomura, S. & K. Baba, 1961. Two new Elmidae-species of Niigata Prefecture, Japan (Coleoptera). *Akitsu*, 10(1/2), 4-6.
- 緒方 健・中島 淳, 2004. ヒメドロムシ科に見られる短翅型とその生息環境. 日本陸水学会講演要旨集第69回大会新潟大会 (2011年1月11日参照). (http://www.jstage.jst.go.jp/article/jslim/69/0/157/_pdf-char/ja/).
- 大川秀雄, 2010. 足利市と佐野市のヒメドロムシ. *インセクト*, 61(2), 109-112.
- 吉富博之・疋田直之・佐藤正孝, 2002. アカツヤドロムシの分布とその生息環境 レッドデータ水生甲虫類の分布記録2. 甲虫ニュース, (140), 9-11.

(〒940-1104 長岡市撰田屋町2633-3ニューロンサニター(株) 営業部広報兼任 岩田幸泰 laccotrephes_1874@yahoo.co.jp)
(〒369-0033 秩父市野坂町1-9-29 岩田朋文)

【短報】関東地方におけるマルモンオオキバハネカクシの採集例

マルモンオオキバハネカクシ *Pseudoxyporus gnatho* は, D. シャープによって1889年に *Oxyporus* 属のもとに記載され, その後 Nakane and Sawada (1956) によって創設された *Pseudoxyporus* 属に移されたハネカクシである。

原記載地は Nikko で, Nakane and Sawada が福島県南会津, 愛媛県面河から, 今坂・伊藤 (2007) が大分県黒岳から記録したため, 本州, 四国, 九州から分布が知られている。山地の自然林で確認されているが, いずれの地域でも非常に珍しく, 大型の美麗種で顕著であるにもかかわらず記録は少ない。西日本では奈良県 (伊藤 2007), 和歌山県 (日本甲虫学会 2007), 徳島県 (吉田ほか 2008) など, 東日本からは, 上述の栃木県, 福島県のほか, 群馬県 (渡辺 2006), 山梨県 (野村 2010) などから記録がある。

筆者の手もとに, 栃木県産ならびに初記録になると思われる東京都産の標本があるので記録しておく。

1 ex., 栃木県塩谷郡栗山村西川, 12. VI. 2006; 1 ex., 東京都西多摩郡奥多摩町日原一石山~人形山, 20. V. 2007, 筆者採集。



奥多摩で得られた個体は, 写真に示したように, 上翅小楯板付近の黒色紋が広がり, 上翅端の黒色紋と融合している。

2 個体とも倒木の裏側に生えた貧弱な釣鐘型のキノコの周辺から採集した。

末筆ながら, 文献記録の問い合わせに快く応じてくださった今坂正一氏 (久留米市) に深謝したい。

引用文献

- 伊藤建夫, 2007. 近畿地方では比較的採集例の少ないオオキバハネカクシ類について. *ねじればね*, 119, 21.
- 今坂正一, 伊藤建夫, 2006. 九州初記録のハネカクシ7種. *月刊むし*, (425), 33-34.
- Nakane, T. and Sawada, K., 1956. A revision of the subfamily Oxyporinae in Japan (Coleoptera, Staphylinidae). *The Scientific Reports of the Saikyo University*, (A)2, 116-126.
- 日本甲虫学会, 2007. 和佐又山産甲虫目録. *地域甲虫自然史*, 3, 1-117.
- 野村周平, 2010. FIT かけある記 - その2: 高さへの挑戦. *月刊むし*, (475), 22-31.
- Sharp, D., 1889. The Staphylinidae of Japan. *The Annals and Magazine of Natural History*, (6)3, 406-419.
- 渡辺 崇, 2006. 群馬県のハネカクシ. *乱舞*, 16, 153-226.
- 吉田正隆, 黒田祐次, 田中光治, 櫻木大介, 2008. 美馬市木屋平地域の甲虫. *阿波学会紀要*, (54), 65-75.

(埼玉県川越市 亀澤 洋)

【短報】沖縄島と台湾におけるイシガキチビキマワリモドキの記録

イシガキチビキマワリモドキ *Tetragonomenes japonicus* Masumoto, 1985 は, 石垣島産の標本をもとに記載されたゴミムシダマシであるが, これまで石垣島以外からの記録はないものと思われる.

筆者らは, 沖縄島と台湾で得られた標本を検査することができたので, 記録しておきたい.

1♂, "Ryukyus, Japan / 4 - VII. 1998 / Sakakibara leg. // 東村 / Okinawa Is. / Okinawa Pref."

1♀, "Kenting (Form.) / 15. VIII. 1976 / H. SAKAINO"

標本は, いずれも国立科学博物館保管. 文末ながら, 貴重な標本を恵与していただいた平井剛夫, 高橋敬一, 境野広行の諸氏に感謝したい.

引用文献

- Masumoto, H., 1985. *The Entomological Review of Japan*, 40(1), 23, figs. 6-7.

(三重県津市 秋田勝己)
(東京都豊島区 益本仁雄)

【短報】フジツヤムネハネカクシを三ツ峠山で採集

フジツヤムネハネカクシ *Quedius (Microsaurus) sugai* S. Uéno and Y. Watanabe, 1966 は, 富士山の溶岩洞から知られる大型の地下性ハネカクシである. 原記載以降の記録としては, ♀ 1 個体が本種の極端な変異と見なされうるとして報告されているにすぎない (Uéno & Watanabe 1970). 筆者は以下のように採集しているので報告する.



図1. フジツヤムネハネカクシ♂ (三ツ峠山産).

1♂, 山梨県南都留郡河口湖町三ツ峠山金ヶ窪沢付近 (標高1300m), 16. X. 1999, 筆者保管.

岩盤が露頭した沢の崖下の石を起こして採集した. 本種が洞窟外から得られたのはじめてである. 採集地点は, 原記載地から東北東に 14km ほど離れている.

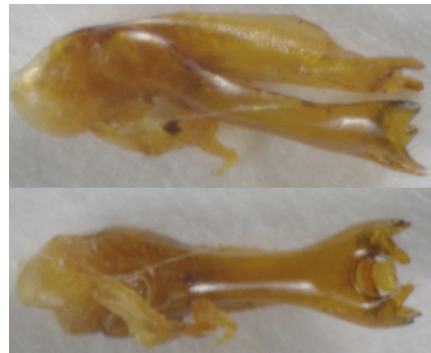


図2. ♂交尾器 (上: 左側面 下: 腹面).

引用文献

- Uéno, S. and Watanabe, Y., 1966. The subterranean staphylinid beetles of the genus *Quedius* from Japan. *Bulletin of the National Science Museum*, 9, 321-337.
- Uéno, S. and Watanabe, Y., 1970. More cave species of the genus *Quedius* (Coleoptera, Staphylinidae) from southwest Japan. *Bulletin of the National Science Museum*, 13, 9-20.

(埼玉県川越市 亀澤 洋)